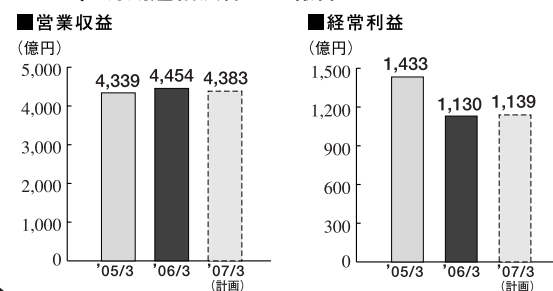


アコムの
決算の結果を、
かんたんに解説
してください。

はい、
決算の結果と
今後の戦略などの
要点をご説明
いたします。

2006年3月期連結決算は、増収減益となりました。
営業収益は、前年同期比2.6%増の4,454億円となったものの、経常
利益は同21.2%減の1,130億円となりました。この要因といたしまし
ては、アコム単体において債権放棄に伴う貸倒損失や貸倒引当金
が計画を上まわったこと、および当期から新たに利息返還損失引当
金を計上したことなどがあげられます。

2006年3月期連結決算のご報告



アコムならではの強味を活かして事業展開。

アコムは常に環境の変化に左右されない、アコムならではの競争優位性を確保することをめざしてきました。消費者金融市場全体が厳しい状況にあるいまこそ、アコムとDCキャッシュワンの2ブランドを有するグループとしての強味を最大限に発揮し、サービス力をさらに向上させて、お客さまに選んでいただけるブランドとなることをめざしてまいります。また、クレジット、信用保証、サービサーなどの金融周辺事業のアコムの収益に占める比率は、2000年3月期の3.5%から、2006年3月期は9.4%へと着実に大きく成長しています。今後も、より一層の発展をめざしてまいります。

MUFGとの提携は、着手可能な部分から
着実に進行中。

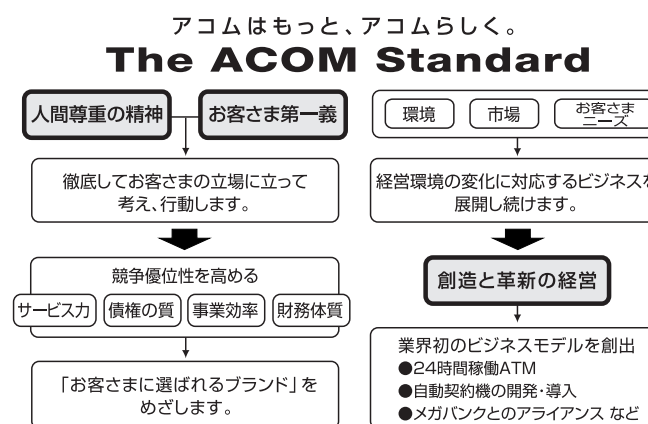
本年2月より、連結子会社DCキャッシュワンにて三菱東京UFJ銀行の「スーパーICカード」への保証業務をスタートしました。また、今期中には、株式会社ディーシーカードが行なっておりました三菱東京UFJ銀行の無担保ローン商品に対する保証業務をアコムへ移行し、さらに同行の新たな個人向け無担保ローンの保証業務をアコムにて開始する予定です。今後これらの事業が大きく発展していけるよう、全力で取り組んでまいります。

投資先として、アコムをチェック。



常に誠実かつ革新的であること。
これこそが、アコム。

アコムは今年、おかげさまで創業70周年を迎えました。アコムは「人間尊重の精神」と「お客さま第一義」に基づく「創造と革新の経営」を通じて社会に貢献していくことを、企業理念としてずっと守り続けてきました。これからもアコムは誠実で革新的な経営を推進し、より信頼され愛される理想的な総合金融サービス企業へと発展してまいりたいと考えています。



下記IRサイトにて、決算の詳しい情報を公開しています。
いまなら、2006年3月期決算説明会の録画版を配信中！
ぜひ、アクセスしてください。

いま、アコムのオーナーになるという選択。



アコム株式会社 本社 東京都千代田区丸の内2-1-1 TEL (03) 5533-0811 (代表) ●登録番号関東財務局長 (8) 第00022号 ●東京都貸金業協会会員 (00302号) 外各道府県貸金業協会会員 ●JCFA会員 (66049号) 証券コード8572

www.acom.co.jp/ir/